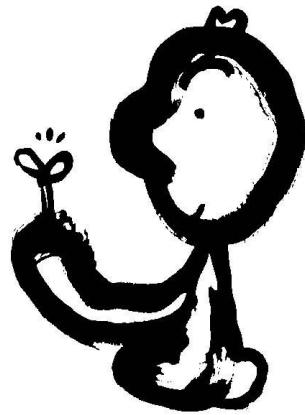


特定非営利活動法人  
しみん基金・こうべ

平成 23 年度事業報告書



平成 24 年 5 月

## はじめに

平成 23 年を振り返りますと、まず 3 月 11 日に発災した東日本大震災では、その被災者を助けたい、何か役立つことがしたい、という多くの人々の想いが、国内外から過去に類をみない金額の義援金・支援金が集まり、また被災地応援ファンドなど多様な支援的資金循環のしくみが生み出されてきました。また、6 月には NPO 法と寄附税制が改正され、市民活動への寄附を支える法的基盤整備が進みました。

その意味で、去年は寄附が動いた 1 年であり、「寄附元年」とも呼ばれています。「ボランティア元年」と呼ばれた 17 年前の阪神淡路大震災後の復興の経験から、市民自らが寄附を出し合って市民活動を支え合うという主旨で誕生した「しみん基金・こうべ」の精神が、このたびの東日本大震災では大きなうねりとして表出されたとも言えるでしょう。

しみん基金・こうべでは、7 月に神戸新聞社等との協働で、東日本大震災の被災者を支援するためのチャリティコンサートを実施し、その収益金（約 150 万円）による指定寄附に基づき、被災した人々を支援するボランティア活動へ助成する特定枠を設置し、従来からの一般枠と合わせて、昨年度に引き続き「次代の市民活動の担い手育成を重視する」というテーマを掲げながら、助成事業を実施しました。

そして、10 月に開催した公開審査会の結果、12 団体（一般枠；8 団体、特定枠；4 団体）の各事業に合計 297 万円（一般枠；148 万円、特定枠；149 万円）の助成金を交付し、助成を受けられた団体の活動を通じて、17 年前の KOBE での経験が、このたびの震災被災者支援に活かされるようにしてきました。

また、11 年目となる委託事業「はあ〜とふるファンド」支援事業や、他団体との協働ファンドレイジング事業「こうべ i - ウォーク 2012」、2 年目となる「NPO マネジメント支援コンサルタント養成講座」などを引き続き実施しました。

阪神淡路大震災から 17 年が経過し、当基金も助成先団体の活動を通じて、「絆」をつくり繋いでいく役割の一端を担ってきました。そして今、東日本大震災以降の時代は、より一層の「絆」の再生と創造が求められることになるでしょう。

今後も、これまでの経験に基づきながら、社会的な課題解決に大きな役割を果たしている市民活動を地域の中で育てていくために、当基金自身の社会的価値もさらに見つめ直しながら、研鑽を積み重ねて参る所存でございます。

皆様方からの更なるご支援、ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ  
理事長 黒田 裕子

# 目次

## 1 寄付・募金活動

ア) 寄付金・募金受入	3
イ) イベント募金	4
①東日本大震災被災者支援／日本を元気に！チャリティコンサート＜協働＞	
②こうべ・あいウォーク 2012 <協働>	
ウ) 協働企画型寄付システム	5
①古着リサイクル寄付 <協働>	
②その他	
エ) 職域募金	5
①あじさい基金	

## 2 助成事業

ア) 本体助成	6
イ) はあ〜とふるふぁんど支援事業＜受託＞	8

## 3 啓発・講座事業

ア) NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座＜協働＞	9
----------------------------------	---

## 4 運営管理

ア) 広報・情報発信	10
イ) ネットワーク活動等	10
ウ) スタッフ研修	10
エ) 会議	11
オ) スタッフ募集・採用	11

# 1 寄付・募金活動

## ア) 寄付・募金受入

以下のみなさんより寄付金を頂きました。(敬称略・順不同)

被災地 NGO 協働センター

井上 由紀子

武田 政義

白水 士郎

瀬戸口 延恵

木村 暉美

(財) 敬愛まちづくり財団

太田 達雄

社会福祉法人兵遊協社会福祉事業協力会

飛田 雄一

オレンジスリフティ

津久井 進

山口 一史

中谷 豊

(特活) マブイ六甲

神戸を元気に! チャリティコンサート実行委員会

あじさい基金

長谷川 照代

大内 晴

こうべ・iーウォーク 2012 実行委員会

中島 秀男

総額 ￥ 3,675,575

---

皆様方のあたたかいお志に心より感謝申し上げます。

## イ) イベント募金

### ①東日本大震災被災者支援／日本を元気に！チャリティコンサート（協働事業）

17年前の阪神・淡路大震災で我々が学んだことは、社会的弱者を地域で支えていくコミュニティの重要性でした。そして現在「無縁社会」と呼ばれる状況が蔓延していく中、さらに昨年3月に東日本太平洋岸を襲った未曾有の地震と津波、それに伴って起った原発事故で、たくさんの人々の命とくらしがいま苦境に立たされています。これからの数年間は、より一層の「絆」の再生と創造が求められることになるでしょう。

このコンサートは、東日本大震災でお亡くなりになられた方々への追悼の気持ちとこれからの再生への誓いを皆さんと一緒に共有することを目的に、下記の各団体との協働で開催しました。コンサートによる収益金は、すべて当基金に寄付され、平成23年度の当基金助成事業の中で、東日本大震災で被災した人々を支援するボランティア活動を行うNPO・NGO／ボランティア団体への助成金として活用させて頂きました。

主催：神戸を元気に！チャリティコンサート実行委員会（神戸新聞社、財団法人神戸新聞文化財団、公益財団法人日本センチュリー交響楽団、(特活)しみん基金 KOBE)

助成：日本財団

日時：平成23年7月16日（土） 16:00～18:00

会場：神戸新聞松方ホール

曲目：ベートーヴェン ピアノ協奏曲第4番ト長調作品58、交響曲第7番イ長調作品92

演奏：指揮／現田茂夫、ピアノ／田部京子、管弦楽／日本センチュリー交響楽団

実績：有料入場者数 382人、寄付金 ¥1,526,530

### ②こうべ・あいウォーク2012（協働事業）

市民活動を精神的にも資金的にも支援するという理念を次の世代に受け渡すイベントとして開催しました。スタート地点での募金（一口千円）は、当日の経費を差し引いて当基金へご寄付頂きました。

主催：こうべ・あいウォーク実行委員会（神戸復興塾、(特活)神戸まちづくり研究所、まちコミュニケーション、(特活)しみん基金 KOBE)、

協力：近畿労働金庫

日時：平成24年1月15日（日）9:30～13:30

場所：長田区（大国公園～鉄人28号モニュメント前、大正筋商店街、丸五市場・・・～みくら5）

実績：参加者 約150人、寄付金：¥149,117

## ウ) 協働企画寄付システム

### ①古着リサイクル寄付 (協働事業)

この事業では、環境負荷を抑えるために使用しなくなった衣類等の提供を通じて、市民の社会貢献意識の定着と市民によるボランティア活動を支えるファンドレイジングを目的としています。

提携先：オレンジスリフティ、

実績：寄付金 ¥243,000

### ②その他

1) まけないぞう寄付 提携先：被災地 NGO 協働センター、寄付金：¥11,760

2) ろうきん NPO 寄付システム 提携先：近畿労働金庫、寄付金：¥9,000

## エ) 職域募金

### ①あじさい基金

しみん基金・KOBЕの趣旨に賛同する神戸市役所職員有志による基金です。月 200 円を給与から天引きされて、集まったお金を定期的にご寄付いただいています。

実績：寄付金 ¥310,000

## 2 助成事業

### ア) 平成 23 年度しみん基金 KOBE 助成事業

#### ①助成の趣旨

しみん基金・こうべは、神戸市を中心とする地域の市民団体等による公益を目的とした活動に対して助成をし、それによって市民団体等の活動を促進し、21 世紀の市民社会にふさわしい魅力と活力のある地域の創造に寄与することを目的とします。

#### ②応募対象者

1. 神戸市及び周辺の地域に活動拠点または事務所を有する非営利団体（法人格の有無は問いません）
2. 自主性を確保し、自律的に運営されている団体
3. 団体として継続性を有し、支給された助成金の管理及び事業を遂行する能力・体制を備えた団体

#### ③助成金額

平成 23 年度助成事業は助成総額 150 万円を予定した。

助成の区分	一般枠	特定枠
助成対象分野	活動分野に限定はなし。	東日本大震災で被災した人々を支援するボランティア活動に限定。
助成限度額等	1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ、金 50 万円を上限。	
	助成総額は 150 万円までを予定。	助成総額は 150 万円までを予定。
審査選考方法	書類審査を経て、団体訪問によるヒアリング調査を行い、公開審査会によるプレゼンテーションにて選定。	

#### ④助成事業の内容

1. 平成 23 年度基本方針：次代の市民活動の担い手育成を重視する。
2. 助成対象期間：平成 23 年 10 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日までの 1 年間における事業を対象とした。
3. 選考優先事項：助成先選考にあたっては、市民社会の確立・存続にふさわしい草の根性、開拓性・先駆性、団体としての継続性、地域との連携・協働を図るものを、優先しました。  
なお、特定枠の審査・選考するにあたっては、組織の「継続性」や「運営能力」よりも、事業内容の「社会的必要性」や「成果波及性」、その理念の「先駆性」をより重視することとした。
4. 助成対象経費：給料・手当（人件費）、福利厚生費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、物品購入費、消耗什器備品費、消耗品費（事務用品費）、修繕工事費、印刷製本費、燃料費、光熱水費、地代家賃（賃借料）、保険料、諸謝金（謝礼金）、負担金（諸会費）※交際費は対象外。

⑤申請受付期間 平成 23 年 7 月 19 日（火）～平成 23 年 8 月 31 日（水）

⑥申請受付団体数 申請件数 66 団体（一般枠；50 団体、特定枠；16 団体）

⑦書類選考（1次審査）以下の通り、書類選考（1次審査）を実施した。

開催日時：平成23年9月15日(木) 10:00~12:00  
 場 所：しみん基金・こうべ事務局  
 形 式：理事会にて審議  
 選考結果：18団体（一般枠；9団体、特定枠；9団体）

⑧ヒアリング調査 以下の通り、書類選考された18団体の活動拠点を訪問して、ヒアリング調査を実施した。

期 間：平成23年9月28日（水）～平成23年10月10日（月）  
 形 式：当基金理事による訪問、ヒアリング調査報告書の作成

⑨公開審査会 以下の通り、書類選考された17団体（1団体は欠席のため辞退）のプレゼンテーションによる公開審査会を開催した。

開催日時：平成23年10月31日（月）13:00~17:00  
 会 場：神戸市生涯学習センター（コムスタ神戸）  
 出席審査員（順不同・敬称略）：

石東 直子（審査員長）、清水 勲夫、松村 敏明、相川 康子、  
 河口 紅、齋本 郁、津久井 進、二木 一夫、中島 淳

⑩助成先決定団体・事業

公開審査会での選考結果を受けて、下表の12団体（一般枠：8団体、特定枠：4団体）の各事業に合計2,970,000円（一般枠：1,480,000円、特定枠：1,490,000円）の助成金を交付することを理事会にて決定しました。

区分	番号	団体名	事業名
一般枠	1	兵庫県手話サークル連絡会	県サ連ブロック学習会・研修会
	2	点訳グループ ともしび	パソコンによる点訳奉仕グループ
	3	ひよどり台エコタウンクラブ「エコミズプロジェクト」	ミミズ飼育による生ゴミ減量化プロジェクト
	4	兵庫県喉嚨障害者福祉協会 神鈴会	喉嚨者の代用音声発声指導員のスキルアップ養成研修
	5	神戸大学難地域活動センター	災害復興住宅住民と周辺地域住民でのコミュニティ形成支援事業
	6	(特活) あんだんてKOBÉ	知的障がい児・者余暇活動支援事業～グループ音楽活動をととした余暇支援と交流活動～
	7	とびまつ森の会	自然に学び、エコを活用する”里山づくり”を次世代に伝える
	8	(特活) 花と緑のネットワーク川西	「お家で出来る生ゴミの堆肥化」普及無料講習会
特定枠	9	トモニプロジェクト	気仙沼復興支援プロジェクト
	10	災害支援団体 チーム神戸	東日本大震災の被災地における『コミュニティサロン』創設
	11	(特活) よろず相談室	つらさ共有 傾聴ボランティア —被災経験者・若者による被災者支援事業—
	12	(特活) ダンスボックス	いわき・神戸 高校生プロジェクト



### ⑪しみる基金・KOBE 特別賞（旧草地奨励賞）

この賞は、当基金と縁の深い方々のご遺志に基づき、当基金設立以来のミッションである草の根支援の見地から、意義のある活動を活発に展開され功績のあった団体に対し授与されるものです。公開審査会同日に開催された当基金理事会の審議により、今年度は「不良ボランティアを支える会」に贈呈致しました。

### ⑫平成 22 年度助成先事業成果報告会

平成 22 年度助成事業（助成対象期間：平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）の締めくくりとして、6 つの助成先団体による成果報告会を下記の通り実施しました。

- ・開催日：平成 23 年 12 月 2 日（金）14:00～16:30
- ・開催場所：コミスタこうべ
- ・ねらい：
  - ①各団体の事業によって得られた社会的な成果を、寄付提供者や審査のプロセスにご協力いただいた皆さんと共有する。
  - ②市民活動・ボランティア活動など民間による公益的活動を市民自らの力で支えることの大切さを分かち合う。
  - ③各団体報告を傾聴することで新しい気づきや学びと出会いやネットワークづくりのきっかけにご活用していただく。

### イ) はあ〜とふるふあんど支援事業（受託事業）

21 世紀は、コミュニティを支える人々の心や地域社会に根ざした文化とともにあらゆる人々の交流が重要になってきます。「兵遊協・ハート玉福祉支援事業/はあ〜とふるふあんど」は、兵庫県遊技業協同組合加盟の遊技ホールのお客さまの協力を得て、遊技時に出たこぼれ玉や景品交換後の余り玉、それにホールからの寄付金を加えて、基金として積み立てていきます。その基金を、県内の福祉事業及び地域振興事業の支援金として毎年寄付し、地域への貢献、文化の育成を図る事業です。（はあ〜とふるふあんど申請書より抜粋）

#### 【支援対象】

兵庫県内で地域ボランティア活動を行っている 5 名以上で構成される団体。

#### 【支援金額】

全体の活動費の 4 分の 3 相当で、最高 100 万円。

#### 【受付期間】

平成 24 年 1 月 16 日（月）～平成 23 年 3 月 16 日（金）

#### 【申請団体数】

申請団体数 184 団体（うち 50 団体に助成予定）

#### まとめ

本年で第 11 回目となる事業ですが、引き続き、兵庫県遊技業協同組合・神戸新聞グループで構成される「はあ〜とふるふあんど委員会」より委託を受けました。申請団体の顔ぶれは年々変化してきていて、本事業が地域に定着してきています。これは、当基金としても兵庫県内の市民活動の実態を知る上で、大きな財産となっており、今後の助成の方向性を考える為にも貴重な事業といえます。

### 3 啓発・講座事業

#### ア) NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座（西日本地区版）（協働事業）

当基金の講座事業として、NPO 法人パンブリックリソースセンターとパナソニック(株)のご協力のもと、市民活動団体の特色を踏まえたマネジメント支援ができる専門家の育成を目指して、下記の通り標題の講座事業を実施しました。

##### ① カリキュラム構成と実施状況

7) 基礎編（通信講座）：テキストの熟読とeラーニングによる課題添削で、NPOマネジメントの基礎を学ぶ。（平成23年8月2日～平成23年10月18日）

1) 実践編（実習＋教室学習）：実際のNPOを実習先としてその経営の現状と課題を把握し、受講者によるグループディスカッションなどを通じて、NPOの組織診断の方法論を学ぶ。

平成23年度は、NPO法人神戸定住外国人支援センターに実習先を引き受けて頂きました。

- ・平成23年10月29日 オリエンテーション
- ・平成23年11月5日 ヒアリング項目抽出（教室学習）
- ・平成23年11月19日 ヒアリング（実習）
- ・平成23年12月3日 SWOT分析・課題の抽出（教室学習）
- ・平成23年12月11日 組織診断報告書作成（教室学習）
- ・平成23年12月18日 診断結果報告会（実習）

② **実績**：受講者：7名、組織診断報告書（対NPO法人神戸定住外国人支援センター）の作成

## 4 運営管理

### ア) 広報・情報発信

- ① ニュースレター発行  
第24号：平成23年4月、第25号：平成23年7月、第26号：平成23年12月
- ② ホームページ；チャリティコンサート専用ページの増設、フェイスブック；新規開設  
ホームページ・事務局ブログ；随時更新
- ③ しみん基金 KOBE 紹介パンフレット及び紹介パネル（展示用）の改訂

### イ) ネットワーク活動等

- ① 神戸市アドバイザー派遣事業 主催：(特活) 神戸まちづくり研究所  
・アドバイザー派遣：(特活) アミティエスポーツクラブ（神戸市東灘区）  
派遣回数：4回（平成23年7月～平成24年2月）  
・NPO 運営ステップアップ講座：3回（平成23年8月～平成24年2月）  
・MTG・ケース検討：9回（平成23年6月～平成24年3月）
- ② 市民ファンド推進連絡会  
・設立記念フォーラム「市民ファンドの設立の方法と課題」  
平成23年6月30日 @東京  
・会議出席：2回（平成23年4月、平成24年3月）
- ③ 講演依頼等  
(ア) 平成23年6月5日 地域創造基金みやぎ設立記念フォーラム パネル登壇：黒田理事長  
主催：(特活) せんだい・みやぎNPOセンター @仙台  
(イ) 平成23年9月25日 近畿の環境団体をつなぐ情報交流会～分科会「ファンドレイジング  
という新潮流」分科会講師：江口事務局長、主催：(特活) エコネット近畿、@大阪  
(ウ) 平成24年1月21日 CB大学～「助成金申請の仕方」 講師：江口事務局長  
主催：生きがい仕事サポートセンター阪神南 @尼崎  
(エ) 平成24年2月12日 NPO 寄附募集スキル向上講座・基礎編 講師：江口事務局長  
主催：(特活) 市民活動フォーラムみのお @箕面  
(オ) 平成24年2月17日 助成金獲得講座 講師：江口事務局長  
主催：(特活) あしやNPOセンター @芦屋  
(カ) 平成24年3月10日 寄附文化向上フォーラム 講師：江口事務局長  
主催：(特活) 市民未来共社 @徳島

### ウ) スタッフ研修

- ① 助成実務者研修会 主催：(公財) 日本助成財団センター  
平成24年2月1日 @大阪 参加：江口、上杉
- ② 初級ファンドレイザー研修&ファンドレイジング日本2012  
主催：(特活) 日本ファンドレイジング協会  
平成24年2月3～5日 @東京・日本財団ビル 参加：江口

## エ) 会議

### ① 定時総会

開催日：平成23年5月27日（金）18:00～19:30

開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

出席会員数：25名（うち委任状提出16名）、正会員数：42名

審議事項：（1）平成22年度事業報告並びに決算報告

（2）平成23年度事業計画案並びに予算計画案

### ② 理事会

1) 平成23年5月10日（火）開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

審議事項：①平成23年度定時総会付議事項、②審査員選任

協議事項：①講演会事業、②事務局人員、③公開審査会までの日程

2) 平成23年9月15日（木）開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

審議事項：①助成事業／一般枠・特定枠の書類選考、②特定枠継続実施について

協議事項：①連続講座企画案、②書類選考方法の見直し

3) 平成23年10月31日（月）開催場所：コミスタ神戸

審議事項：①公開審査会選考結果承認・助成先決定、②しみん基金 KOBE 特別賞選考

協議事項：①講演会事業、②平成22年度助成事業成果報告会

### ③ 四役運営会議

1) 平成23年4月27日（水）開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

議事内容：平成23年度事業計画・予算計画（案）、平成22年度事業報告書（案）、事務局人員

2) 平成23年7月20日（水）開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

議事内容：古着リサイクル寄附システムのチラシ改訂、正会員会費3年間未納者への対応、講演会事業、事務局人員、・KEC市民ファンド共同広報事業、今後の日程調整

3) 平成24年3月19日（月）開催場所：しみん基金 KOBE 事務所

議事内容：平成24年度事業計画（案）、役員選考、今後の日程調整

## オ) スタッフ募集・採用

① 公募 期間：平成23年10月下旬～11月末日、方法：HP記事掲載、生きがしい仕事サポートセンターに人材募集情報を提供、応募者数：11名

② 選考 書類選考を経て、平成23年12月28日に役員面接（3名）を実施

③ 採用 平成24年1月16日 最終面接1名（上杉敬氏） → 平成24年1月24日勤務開始